

# 宮城県大崎保健所栗原支所 感染症発生動向調査情報

(令和8年3月6日発行)

## 1. 定点把握対象疾患の発生動向 ※栗原支所管内を含む大崎保健所管内

上段は圏域全体で一週間に診断した患者数、下段は一つの定点(医療機関)あたり一週間に診断した患者数。\*は急性呼吸器感染症(ARI)に含まれる感染症。

疾病	疫学週			
	6週	7週	8週	9週
	2月2日 ~ 2月8日	2月9日 ~ 2月15日	2月16日 ~ 2月22日	2月23日 ~ 3月1日
急性呼吸器感染症(ARI) インフルエンザ* 新型コロナウイルス感染症*	867 173.40	904 180.80	659 131.80	525 105.00
	295 59.00	263 52.60	105 21.00	90 18.00
	31 6.20	30 6.00	27 5.40	13 2.60
小児科定点	RSウイルス感染症*	2 0.67		
	咽頭結膜熱*		1 0.33	1 0.33
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎*	9 3.00	9 3.00	8 2.67
	感染性胃腸炎	15 5.00	21 7.00	22 7.33
	水痘			
	手足口病			
	伝染性紅斑			
	突発性発しん	1 0.33	2 0.67	2 0.67
	ヘルパンギーナ*			
	流行性耳下腺炎	1 0.33		
眼科定点	急性出血性結膜炎			
	流行性角結膜炎	3 3.00		2 2.00
基幹定点	感染性胃腸炎(ロタウイルス)			
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)			
	細菌性髄膜炎(真菌性を含む)			
	マイコプラズマ肺炎			
拡張疾患	無菌性髄膜炎			
	マイコプラズマ肺炎(小児科)	2		2
	川崎病			
不明発疹症				

大崎保健所管内定点数: 内科定点2施設 小児科定点3施設 眼科定点1施設 基幹定点1施設

## 2. 集団発生状況 ※栗原支所の過去2週間における対応状況

施設区分	保育所	高齢者・障害者施設	医療機関
対応状況	○	—	—
備考	インフルエンザ		

### 【施設職員の皆様へ】

- 保健所では管内施設等を対象に感染症予防啓発物品(手洗いチェッカー、CO2センサー)の貸出を行っています。
- 職員の勉強会等で御活用ください。



## 3. 栗原支所より

◎:複数対応中、○:対応施設あり、—:対応無し

### 【全数報告疾病】※栗原支所管内

- なし

### 【定点把握対象疾患の発生動向】

※栗原支所管内を含む大崎保健所管内

- インフルエンザの患者報告数は減少傾向ですが、依然として高い水準で推移しており、注意が必要です。3月は新しい生活に向け、地域間の移動が多くなる時期です。引き続き咳エチケットの徹底や手洗い等、基本的な感染対策を心掛けましょう。

### 【集団発生状況】※栗原支所管内

- 新たな集団発生の報告はありません。

### 【お知らせ】 3月24日は世界結核デー

- 1882年3月24日に細菌学者ロベルト・コッホが結核菌の発見を発表し、WHO(世界保健機関)は、結核問題の重要性を警告し、結核対策の強化の必要性を訴えるため、この日を「世界結核デー」と決めました。
- この日は、世界各地で結核の予防に関する啓発活動が行われます。

### 【感染症コラム～細菌性赤痢～】

- 赤痢菌を原因とする感染症で、近年は海外渡航者による輸入症例が大半で、推定感染地域はアジアが多くなっています。
- 主な感染経路は、病原体に汚染された飲食物の摂取や糞口感染です。
- 約1～3日の潜伏期間を経て、発熱や水様性下痢を呈します。特徴的な症状として、腹痛を伴うしびり腹、膿粘血便があります。近年の重症例は少なく、数回の下痢や軽度の発熱で経過する事例が多いです。
- 主な治療は、対症療法と抗菌薬療法です。
- 予防は、流行地域(インド、インドネシア、タイ等)での水・氷や生の魚介類・野菜等の食品の喫食を避けること、石鹼を用いた流水による手洗いを行うことが有効です。
- 細菌性赤痢は、感染症法における3類感染症に定められています。診断した場合には、直ちに保健所へ届出をお願いします。

大崎保健所 栗原支所 疾病対策班

☎0228-22-2117 📠0228-22-7594